

平成30年度
学校評価 計画表



清新 敬愛 力行

奈良県立西和清陵高等学校

平成30年度 学校評価計画表

奈良県立西和清陵高等学校

<p>教育目標</p>	<p>教育環境の整備を図り、活力と創造力をそなえた人間形成を学校教育全般で育み、地域との連携を強化し、社会人として「生きる力」を育成する。</p>		<p>総合評価</p>
<p>運営方針</p>	<p>(1) 地域と共にある学校づくりの推進 (2) 教職員全員による学校経営への参加 ①報・連・相の徹底 ②教える者自身が学ぶ (3) 学校教育の充実と生徒理解の推進 ①子供たちの可能性を最大限引き出す ②部活動の活性化、生徒会活動の活性化 ③学校行事の充実 ④総合的な学習の時間等、体験学習の機会の充実 (4) 広報活動の充実</p>		
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>本年度の重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>学習指導においては、72%の生徒が「授業が分かりやすい」と回答しており、日頃の基礎的・基本的な内容を大切にされた授業の工夫・改善の成果であったと考える。一方、自主学習時間の確保が課題であり、様々な機会を通してその重要性を認識させたい。また、進路実現のため、3年生の促進講座の受講者数を増やすことも課題である。</p> <p>生徒の規範意識の向上は、校内外の生活の様子からうかがうことができる。しかし、遅刻だけを見ると、まだまだ指導の余地を残している。きめ細かく丁寧な指導を心掛けていきたい。</p> <p>部活動は学校の活性化に繋がるので、加入率を高めたい。入学生への部活動紹介を、部活動生徒とともに充実したものにするための取組を年度当初から行っていく。また、途中退部者を減らすための工夫も必要である。</p> <p>地域の活動では、生徒会本部役員を中心に、「あいさつ運動」「障害者施設へのクリスマス訪問」等の充実した取組ができた。今後は、地域との協働活動を目指し、裾野を広げていきたい。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得させ、確かな学力を身に付け、学ぶ意欲を高める。</p> <p>○基本的な生活習慣や規範意識の向上に取り組み、社会に適應できる人づくりを目指す。</p> <p>○正義感や責任感、連帯感を育み、思いやりを持つ豊かな人間性を育成する。</p> <p>○たくましい体力と強い精神力を育む。 ○危機管理の共通理解。</p> <p>○地域との連携を一層強化し、「地域と共にある学校づくり」を推進する（校内外の美化活動）。</p>	<p>・反復することで、確かな学力を身に付ける。 ・知識や技能を活用して、課題解決力（思考力・判断力・表現力等）を育成する。 ・進路実現に向けて、自ら学ぼうとする力を身に付ける。 ・学力と生活習慣（家庭学習の定着）の関連性を理解させる。</p> <p>・「志」（目標）を持たせる。 ・本校生としての自覚を促し、挨拶を励行し、服装身だしなみをただす。 ・社会の一員としての生活態度を育成する。 ・遅刻指導を通して、時間を大切にする態度を育成する。</p> <p>・道徳教育を充実し道徳性を養う。 ・ホームルーム活動で人権教育・特別支援教育の充実を図る。 ・学校行事等の中から連帯感を共有させる。 ・清掃活動等の中から奉仕の精神を学び、達成感や成就感を育成する。 ・いじめの根絶と早期発見、早期対応の取り組みの徹底。</p> <p>・安全教育（救急体制の徹底等）、安全教育（交通安全等）、食育指導（朝食の徹底等）を充実させる。 ・部活動をより活性化する。 ・健やかな体の育成に向けて、主体的に取り組む力の育成。 ・生徒会活動を一層活性化する。</p> <p>・地域のボランティア活動を強化する。 ・プロジェクトチーム、教職員、生徒会、家庭クラブ、部活動、学級活動等の連携を図り、地域を取り込んだ協働活動を実践する。 ・郷土への愛着を深め、魅力について調べ、郷土に根ざした教育活動の充実を図る。</p>	

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
学習指導	基礎・基本の学力の定着	・目的意識を高め学習意欲の向上を目指して、自主学習時間を1日1時間以上させる。目標達成率50%				
		・生徒が理解できる、分かりやすい授業を展開する。				
特別活動	ボランティア活動への参加・啓発	・募金活動、ボランティア清掃等への参加を増やす。				
	生徒会活動の活性化	・各委員会で行う内容を見直し、委員会活動から学校の活性化を促す。				
	部活動の活性化	・部活動紹介・体験を充実させ、加入率60%を目指す。				
生徒指導	基本的生活習慣の確立	・遅刻指導対象者および指導内容を共通確認し指導する。昨年度の20%減を目指す。遅刻指導を通して健康への意識高揚を図る。 ・一斉頭髪、服装点検を定期的実施する。				
	規範意識の向上	・生活アンケートを実施し自己認識を高め、また、全校集会を通して集団意識の向上を図る。				
	あいさつの励行	・毎朝の校門でのあいさつ運動、SHRを通して、コミュニケーションを意識させ、その能力向上を図る。				
進路指導・キャリア教育	進路希望の実現	・進路実現に必要な学力を養成するために、年間を通して促進講座を実施する。				
	キャリア教育の推進	・保育園実習などを2回実施する。 ・進路講演会、進路ガイダンスを、各学年で年2回実施する。 ・インターンシップの案内、集計をする。				
	進路情報の提供	・「進路ニュース」を年6回発行する。 ・進路説明会やオープンキャンパスの案内、進路情報誌の適切な提供を行う。 ・進路資料室の利用を高める。				
人権教育	人権意識の確立と仲間作り	・人権HRを充実させることで、人権意識・ボランティア意識・道徳意識の確立を図る。				
	生徒・教職員・保護者の人権意識の高揚と連携	・効果的な研修会や学習会の企画・運営。 ・生徒・教職員・保護者の共通した意識の高揚とそれに対する啓発活動の具体化を図る。				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
教育相談 特別支援教育 (教育相談室)	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置事業の有効な活用に努め、精神的な不安を抱える生徒への相談の充実に努力する。 ・校内教育相談体制の構築に努める。 ・外部機関（教育研究所・医療機関・スクールカウンセラー等）との連携を図る。 				
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい等により特別な教育的支援を必要としている生徒の実態把握に努める。 ・学習活動や生活全般にわたる支援の促進と充実に努める。 ・特別支援教育支援員制度を活用して、効果的な授業中の学習支援に努める。 				
保健・安全管理	生徒の心身の健康状態把握と対処	<ul style="list-style-type: none"> ・各検診の事前、事後指導の徹底を行う。 ・健康調査票、定期検診、学校保健委員会を通じた生徒の身体状況、健康状態の共通理解をする。 				
	危機管理体制の整備と安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内救急体制マニュアルに基づき、緊急時の適切で迅速な体制の共通理解を図る。 ・生徒指導部と連携した生徒対象の安全教育を実施する。 				
	食育教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活実態に基づいた、食育推進体制の強化と指導全体教育の推進を行う。 ・生徒、保護者への啓発活動を行う。 				
教職員の研究・研修	生徒の実態・ニーズを踏まえた研修の実施。実践につながる研修講座への参加。教科の枠を超えた授業公開・授業研究の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領、高大接続改革に関わった教科・進路研修会等への参加したり、教科指導研究を行ったりする。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生徒指導・進路指導・教育相談等に関する研修を実施する。 ・授業公開・授業研究を実施する。 				
学校事務	経営方針に基づく教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な学校運営と教育活動の推進のため、関係各部署との連携を図りながら、安心、安全な環境づくりに努める。 				
	文書・物品の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の收受・施行等文書管理を適切に行い、物品の管理についても、的確に行えるよう管理体制の強化に努める。 				
	光熱水費及び学校運営経費の適切な執行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・予算確保が年々困難となる状況のもと、より一層、削減、省エネ等についての啓発に努め、予算執行を適切に行う。 ・生徒の活動に対し、充実した支援ができるような徴収金等の執行に努める。 				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
広報・渉外	学校教育活動の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「紅葉」の発刊及びWebページ等による広報活動の推進。 ・オープンキャンパスの内容の再検討を行う。特に、生徒自身が自分たちの感じた学校の良さを自分たちの言葉で伝えることができるような体制をつくる。 				
	保護者・地域・関係諸機関の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・本校パンフレットの内容を充実させ、新聞などの外部広報機関との連携をはかる。 ・オープンキャンパスの案内として、クラブを通して、チラシを配布する。 				
	同窓会の組織	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会組織の整備、名簿管理の業者委託を行う。 				
図書情報	図書情報を活用した学校生活の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科、教員からの推薦図書を充実させる。 ・授業をサポートできる、授業・総合学習などで利用できる図書館作りを進める。 ・生徒自身が必要な情報を自ら得られる「場」とできる環境整備を進める。 ・図書館日より、新着図書の紹介などの内容をより充実させるとともに、生徒対象の読書・図書館利用アンケートを実施し、図書館利用と読書意欲を喚起する取組を進める。 ・Webページなどを通じて、本校生徒、保護者、地域、受験生に向けて学校の活動・魅力を発信する。 				
環境・美化	校内施設の保全、安全・防災環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・美化関連用具、及び清掃用具の点検保全を行う。 ・四季折々の花を絶やさない美化活動を行う。 ・救助袋を使用した防災学習・訓練の実施する。 ・「きれいな学校・西和清陵高校」をスローガンに校内美化の意識を高める。 ・安全点検を日常的に行うことにより、危険箇所や潜在危険を早期に見出し、事故災害の可能性を除去する。 				
	地域に「開かれた学校」となり地域コミュニティーにおける役割を担う	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路清掃について、地域の行事の一つとして定着させるとともに、生徒が地域の人たちとコミュニケーションをとることができる体験の場にする。 ・ゴミの分別回収の啓発を行うとともに徹底する。 				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
第1学年	基本的生活習慣の見直しから確立へ	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を励行させる。 ・時間厳守を徹底させる。 ・身だしなみの指導を徹底する。 ・礼儀や正しい言葉遣いを定着させる。 ・規範意識の定着させる。 				
	学び直しから基礎学力の充実へ、	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本的内容の復習をさせる。 ・家庭学習の定着（予習復習）させる。 ・授業を大切にしている意識の育成する。 				
	帰属意識と愛校心の育成および学校生活での目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の理解となかま意識を育成する。 ・学校行事や課外活動へ、積極的に参加させる。 ・思いやりの心を育成する。 ・将来を見据えた学校生活を充実させる。 				
第2学年	中堅学年としての自覚と基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の向上と規律ある行動を確立させる。 ・挨拶の励行させ、基本的生活習慣を確立させる。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行等の学校行事を通じて集団意識、思いやりの心、愛校心の高揚を図る。 				
	進路実現のための基礎固め	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にしている態度を育成する。 ・基礎学力の充実させ、家庭学習を実現する。 				
第3学年	最高学年としての自覚と社会の一員となるための資質の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を確立させる。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を向上させる。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等に主体的に参加させる。 				
	進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的目標を早期に設定させる。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を充実させ、促進講座に積極的に参加させる。 					
	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定後の指導を徹底する。 					